

# Fashion

## 人事のファッション機能学

ファッションには、自己確認や強化の機能、他者に情報を伝える機能などがある。この機能を利用して、人事が直面する課題に活路を見出すことができないか。パーソナルスタイリストの政近準子氏が語る。

## 服装はコミュニケーションにも影響を与える

服装には人とのかかわりを促進したり、抑制する相互作用機能があります。極端な例でいえば、取引先に迷惑をかけ、お詫びの訪問をするときに流行のスーツに派手な時計を身につけていたらどうでしょうか。場違いな服装で謝意が伝わらず、相手にしてもらえないこともあるかもしれません。一方、きちんとした服装が誠意を感じさせ、関係が深まることもあります。服装はコミュニケーションにも大きな影響を与えるのです。

服装の相互作用機能からプラスの効果を引き出し、職場でのコミュニケーションを円滑にするためには、趣味や着心地など自己満足だけで服装を選ぶのは禁物。場をわきまえ、常に「相手からどう見られるか」を意識して装うことがコミュニケーション力を上げる第一歩です。

しかるべき服装を選ぶには、相手に対する自分の立ち位置と、どのようなコミュニケーションを取りたいかを考

素材はシルクが定番だが、春や夏はニットタイも涼しげ。個性のある素材は、無地を選ぶとなじみやすい。

カジュアルな印象もあるニットタイだが、無地で濃い色のものを白シャツに合わせればビジネスでも問題ない。

ネクタイの一般的な結び方。左から結び目の小さい順にプレーンノット、セミウィンザーノット、ウィンザーノット。



※ネクタイの結び方の動画を下記URLからご覧いただけます。

- ・プレーンノット <http://fashion-rescue.com/sen/mf2/>
- ・セミウィンザーノット <http://fashion-rescue.com/sen/mf3/>
- ・ウィンザーノット <http://fashion-rescue.com/sen/mf4/>

えることが大切です。ポジションが高い相手と会うときは、服装も背伸びをしたほうがよいでしょう。その理由は単純に「マナーだから」ではありません。服装で自分の格を上げることによって相手に受け入れられ、対等なコミュニケーションを実現できるのです。

ポジションに差のない相手と会うときやカジュアルな場では、ベーシックな服装に少し工夫を加えると、会話のきっかけにもなります。その場合も、相手からの見え方に配慮することがコミュニケーションを円滑にします。人の目は上半身に注意が向くので、男性ならネクタイを工夫してみてもいいでしょうか。

効果を出しやすいのは色です。天気の良い日には明るめの色、夏の暑い日には薄い色など気候に合わせて心地よく感じる色を選ぶと、周囲の目をひきます。また、若い部下を持つ方なら、

少し流行も意識してみましょう。周囲に目配りできていると感じさせるので、若い世代とコミュニケーションを取る意思があることが伝わります。

ネクタイは太さや結び目の大きさで時代感が出ます。最近は大剣(いちばん幅が広い部分)が7.5~8センチメートルのやや細めのが流行。体格がいい方は9センチメートルのものがバランスがよいでしょう。結び目も小さめが主流で、標準体型はプレーンノット、太めの方ならセミウィンザーノットがおすすめです(イラスト参照)。

職場に制服や厳しい服装規定がある場合、装いに変化をつけられないと考えている人もいますが、シャツのアイロンのかけ方ひとつでも雰囲気は変わります。むしろ規定が厳しいほど服装への配慮の有無が目立ちやすいもの。服装の相互作用機能を意識することを忘れないでほしいですね。

### ADVISER



#### 政近準子氏

ファッションレスキュー  
代表取締役社長  
パーソナルスタイリスト

Masachika Junko\_アパレルのデザイナーを経て、2001年個人向けスタイリングを行う「ファッションレスキュー」を創業。顧客は政治家、経営者など1万人を超える。